

館山市情報提供
令和2年10月5日
健康課 担当：手島・石井
TEL：0470-23-3113

「シトラスリボンプロジェクト」への参加について 新型コロナウイルス感染者や医療従事者への差別をなくそう

館山市は、新型コロナウイルスの感染者や医療従事者等への差別、偏見をなくそうという「シトラスリボンプロジェクト」に参加します。

「シトラスリボンプロジェクト」とは、愛媛県の市民グループがコロナ禍による差別、偏見を無くすために始めた活動で、「地域」「家庭」「職場（または学校）」を表す「シトラスカラーの三つ輪のリボン」を着け、思いやりと優しさの気持ちを表す活動を広めるものです。

たとえ、コロナウイルスに感染してしまっても、誰もが地域に帰ってきて笑顔で住み続けられるよう、感染した人、濃厚接触者、医療関係者を暖かく迎えるまちになるよう、館山市は「シトラスリボンプロジェクト」に賛同し、活動に参加します。

記

1. 本市の活動

- (1)市職員が、シンボルであるシトラスリボンを着けて市民の皆様に周知・啓発を図る。
- (2)市ホームページでシトラスリボンプロジェクトを紹介し、手作りリボンの作り方動画などを案内し賛同の輪を広げる。
- (3)市民団体、学校、企業や病院等へシトラスリボンプロジェクトの周知・啓発を行い、新型コロナウイルス感染症への差別や偏見を無くし、すべての人に優しさと思いやりの心を向けられるまちづくりを市民全体で進める。

2. 経緯

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、感染者や回復した人、濃厚接触者、医療従事者やその家族に対する不当な差別や偏見、いじめが全国で報告されており、館山市においてもこれらが大きな問題になる前に対策を講じる必要性を感じていた。

健康課の職員が、ホームページの記事でシトラスリボンプロジェクトを知り、館山市でもこの運動を広めたいと考えた。市職員から始めようと、市管理職員互助会に相談、快諾を得て、管理職員互助会が費用を負担してリボンを購入。職員全員がリボンを着用することとした。

リボンはNPO法人なの花会の協力をいただき、職員全員分のリボンの作成をお願いした。

職員の運動参加にあたり、市の新型コロナウイルス感染症対策本部において、市民全員で取り組むべき運動と判断し、館山市としてシトラスリボンプロジェクトに参加することとした。

ただいま、おかえりって言いあえるまちに

みんなで 広げよう、 シトラスリボン プロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっているCOVID19。今や、どこにいても何をしていても、いつだってれだって感染のリスクはゼロではありません。

感染拡大を防ぐためには、さらなる「行動変容」が必要になると同時に、だれもが、少しでも心のびやかに暮らせるようなまちのあり方が、今こそ問われているのかもしれない。

ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。経済対策も大事です。でももうひとつ、忘れてはならないことは、たとえウイルスに感染してしまっても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

「ただいま」「おかえり」。お互いにそんなふうに言いあえる、受け止める空気であってこそ、安心・安全が守られるまちなのだと思います。わたしたちの暮らしを守るために日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて、「ただいま」「おかえり」って言いあえるひとの輪を、ここ愛媛から。

Citrus Ribbon PROJECT

シトラス色（柑橘をイメージ）のリボンや紐で、三つの輪をつくる「シトラスリボン」。このリボンやロゴを付けて賛同の気持ちを表現しています。全国に活動の輪が広がっている様子は、下記サイトでご紹介。シトラスリボンの作り方なども掲載しています。

Facebook : citrusribbonfromehime

お問合せ : citrusribbonfromehime@gmail.com(ちよびつと19#)

